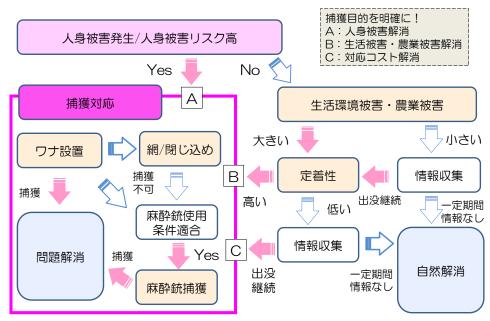
講義7:市街地に出没したニホンザルへの対応(1)ー対応の基本と事例の紹介ー

株式会社野生動物保護管理事務所 関西分室 清野紘典

- ●まずは出没情報の収集と被害予防を
- ▶市街地にサルが出没したら、出没日時・場所・頭数・個体の大きさ・被害内容を通報等から適切に情報収集し、地図に記録します。
- ➤出没個体の頭数や行動特性によって、対応の内容や緊急性が決まります。
- ➤出没事案が一過性でサルが自然消滅し問題解決することがあります。
- ➤一方、被害が甚大で定着性が高い場合もあり、出没したサルの特性により異なります。
- ➤サルの出没に対して免疫のない地域では、出没そのものに過敏に反応しがちですが適切に情報を収集しながら冷静に対応して下さい。
- ➤被害の発生を予防するため、関係機関と連携しながら地域に啓発します。
- ▶行政によるパトロールと追い払いによって被害を防止します。
- ➤人身被害が発生した、または人身被害が発生するリスクが高い場合は、緊急捕獲対応となります
- ▶捕獲対応は、まずワナによる方法を第一選択して下さい。
- ➤ワナ等によって捕獲できない場合に限り、出没事案が麻酔銃使用の条件に適合している か専門家に相談し、麻酔銃捕獲を検討して下さい。
- ●出没情報(被害情報)から対応を検討

市街地に出没したサルへの緊急対応

①出没情報収集 ②被害予防(地域啓発) ③関係機関と連絡調整 ④パトロール/追払い



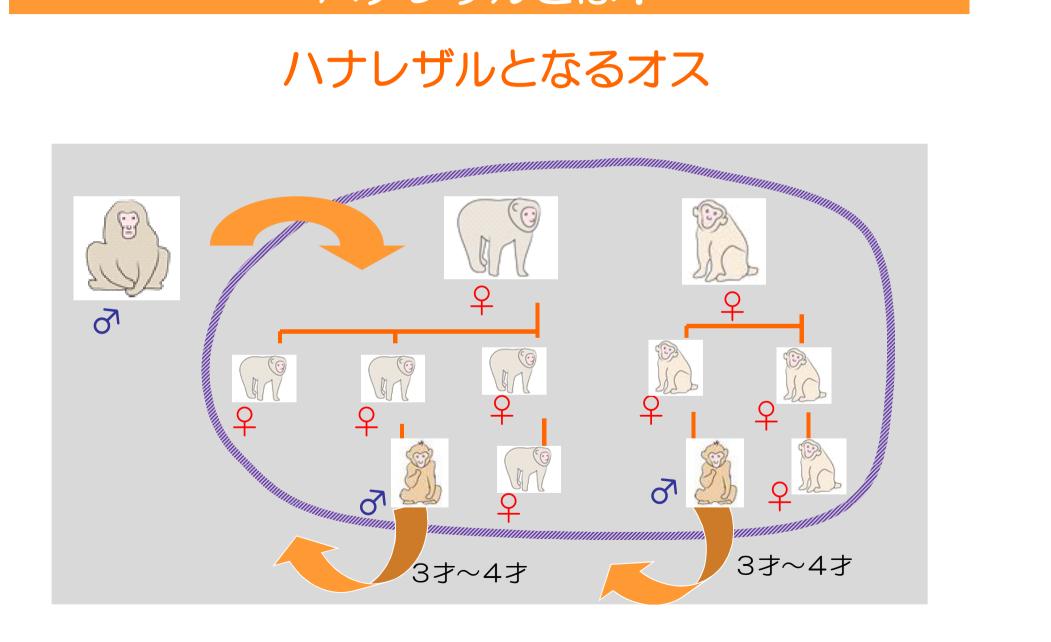
平成28年度 特定鳥獣の保護・管理に係わる研修会 <上級編・ニホンザル>

講義7 市街地に出没した ニホンザルへの対応(1) - 対応の基本と事例紹介 -

(株)野生動物保護管理事務所上席研究員 清野紘典

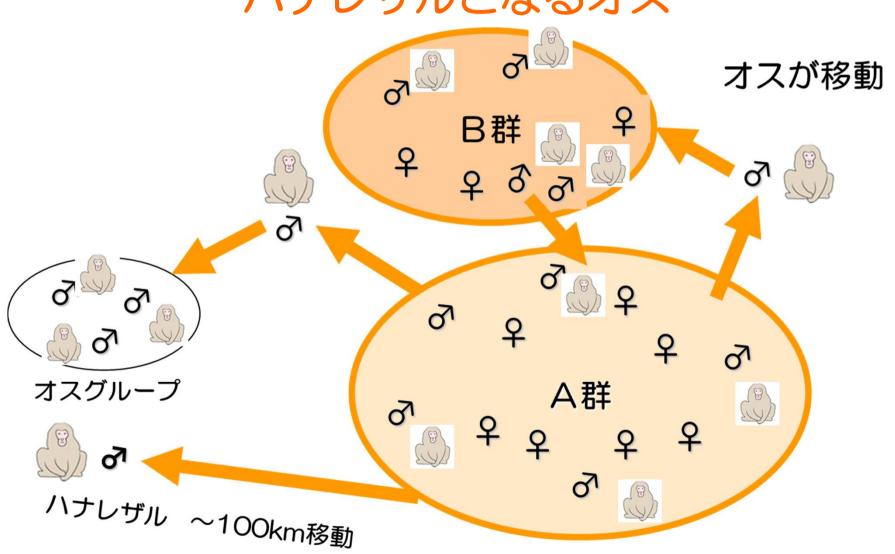
ハナレザルとは?

ハナレザルとなるオス

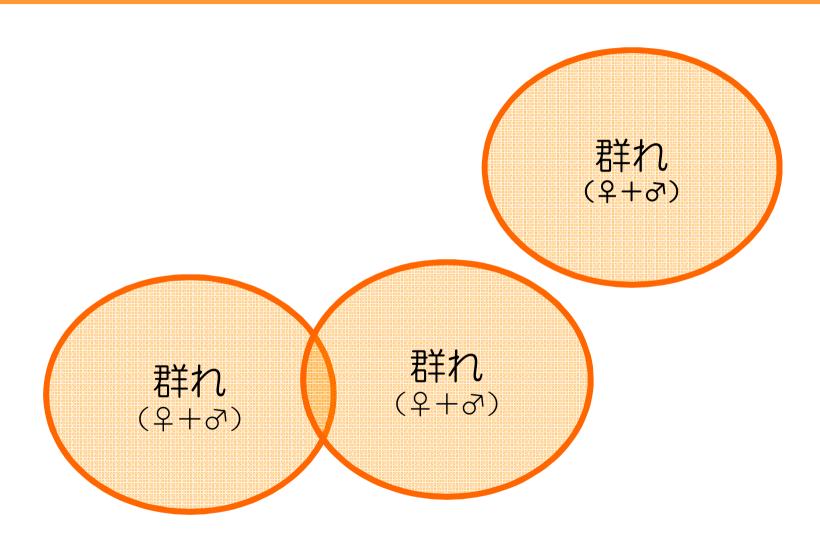


ハナレザルとは?

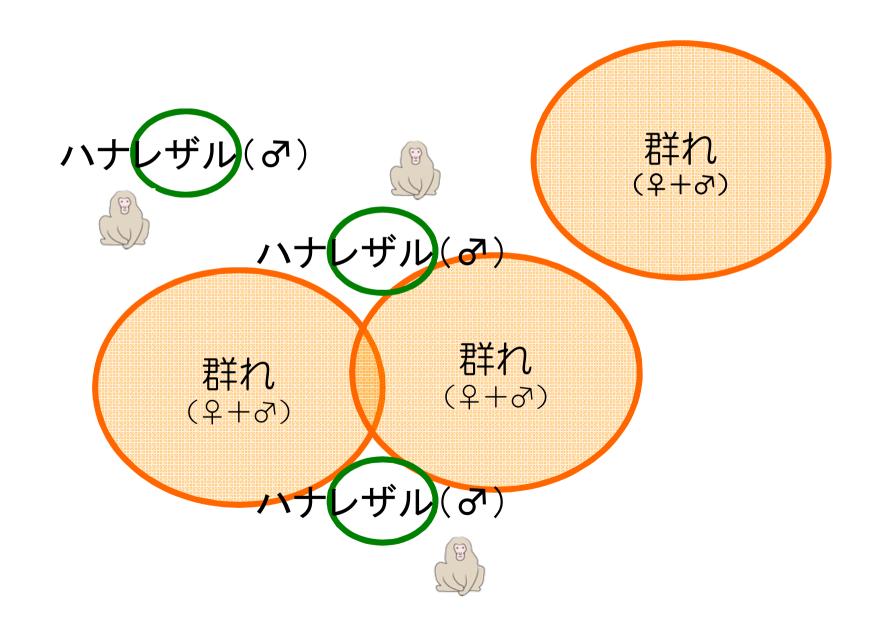
ハナレザルとなるオス



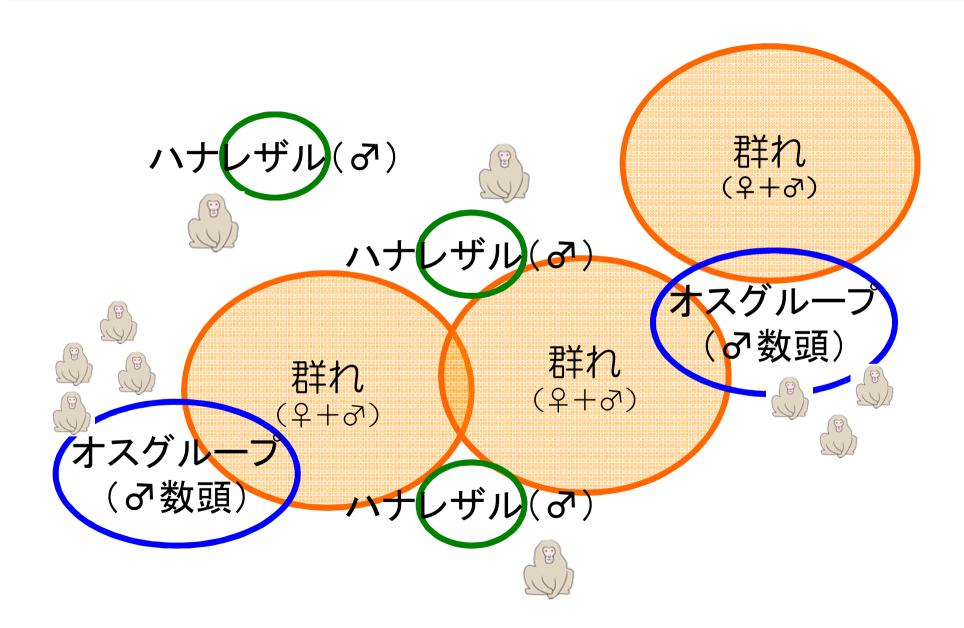
サル生息分布イメージ



サル生息分布イメージ



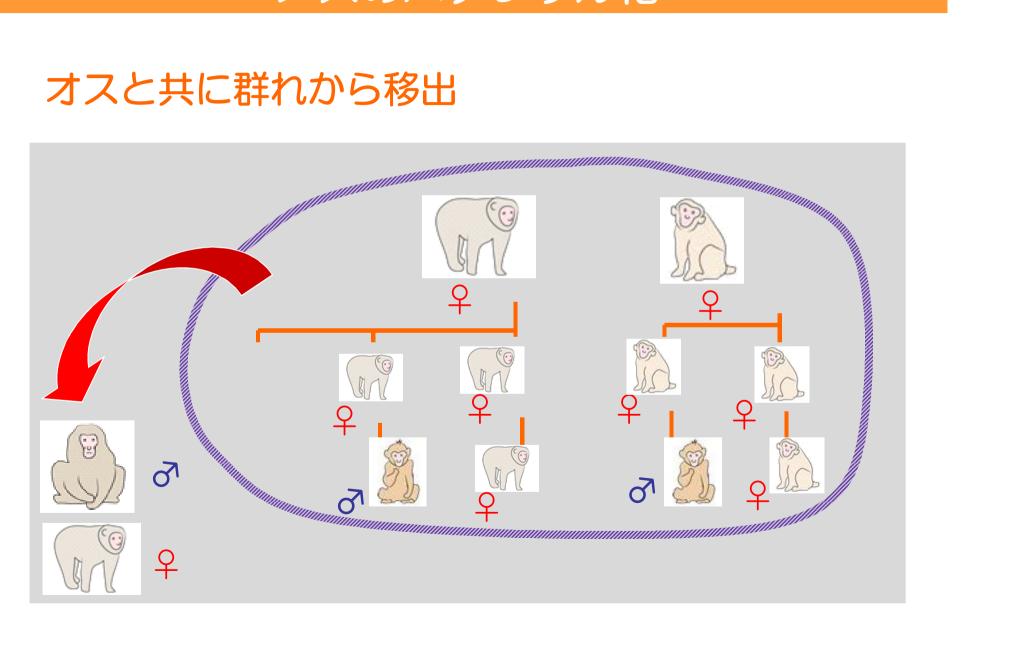
サル生息分布イメージ



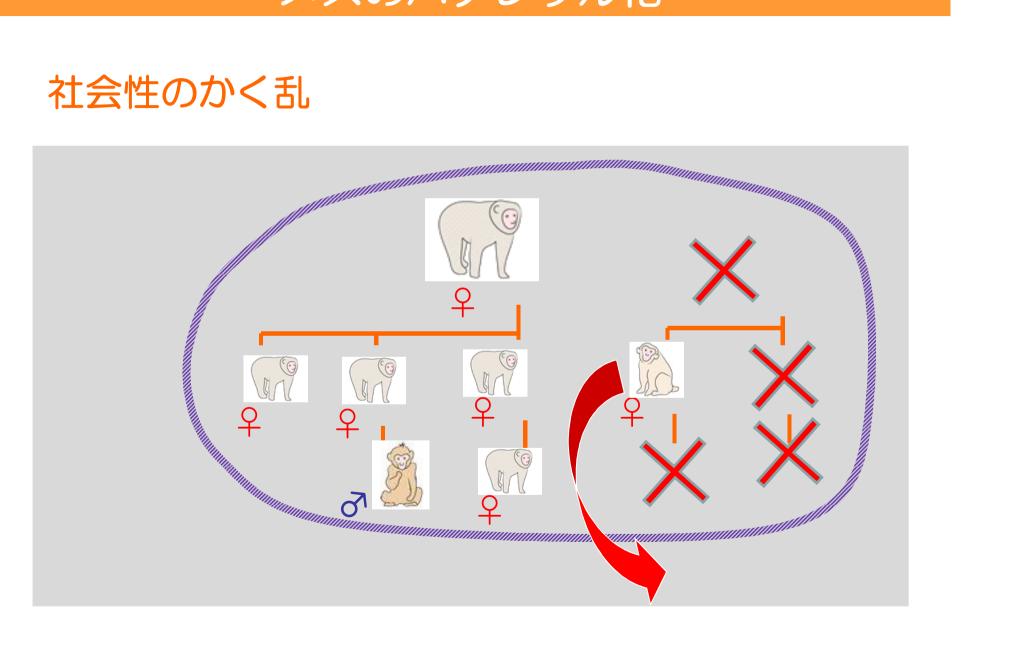
オスのハナレザルが出現する時期

交尾期	非交尾期	交尾期	非交尾期
~3月	4月~9月	10月~3月	4月~
メスを求めて 群れに集まる	群れから分散 ↓ ハナレザル化	メスを求めて 群れに集まる	群れから分散 ↓ ハナレザル化

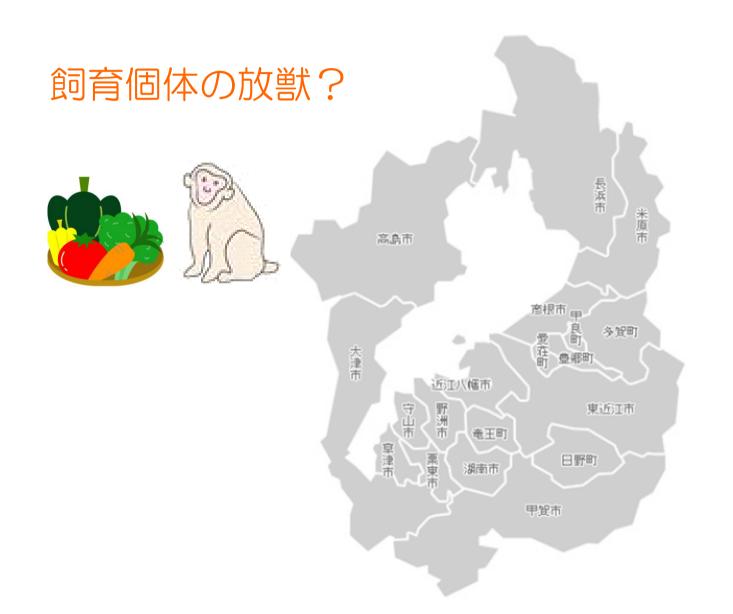
オスと共に群れから移出



社会性のかく乱







ハナレザルの特性

ハナレザル	定着性	攻撃性
オス (オスグループ)	低い	多様
メス	高い	多様 (※アカンボウ持ちは高い)

情報収集と被害予防がカギ

- ✓ 出没個体の頭数や行動特性によって、対応の内容 や緊急性が異なる
- ✓ オスのハナレザルの場合、出没が一過性で、個体の自然消失により問題解決に至ることが多い
- ✓ メスのハナレザルの場合、定着性が高く、人身被害が発生し、問題が大きくなることがある

情報収集と被害予防がカギ

- ✓ 地域への啓発によって未然に被害を予防する
- ✓ パトロールと追い払いによって被害を防止する
- ✓ 警察・学校・自治会などと連携調整し、協力関係 を構築する
- ✓ 適切に情報収集し、「市街地に出没したサルへの 緊急対応」フロー図に従う

通報等からの出没情報収集

- 少 出没日時 場所 (地図記入)
- **介** 目擊数
- 伊目撃個体の特徴 (雌雄・体サイズ大中小、アカンボウの有無、攻撃性など)
- ⑦ 被害の内容
- プ その他 ①執着物:犬/猫/鏡/ぬいぐるみ/食べ物など
 - ②出没環境:家屋進入/屋根/犬小屋/庭先など

地域への啓発内容

- 不用意にサルに近づかない
- エサをあげようとしない
- ・大声をあげたり、棒をふりまわしたりサルを興奮させない
- ・追い払う時は一人ではやらない
- サルの目を見ない
- ・威嚇されたら目をそらして後ずさりしその場を離れる
- 威嚇されても走って逃げない
- ・噛まれたり、引掻かれたらすぐに病院へ
- ・児童は集団で登下校する
- 不要な外出は控える
- エサになりそうなものを野外に置かない
- 戸締りを励行する
- 警察ではなく市町村に通報を(情報の一元化)

市街地に出没したサルへの緊急対応

①出没情報収集 ②被害予防(地域啓発) ③関係機関と連絡調整 ④パトロール/追払い

